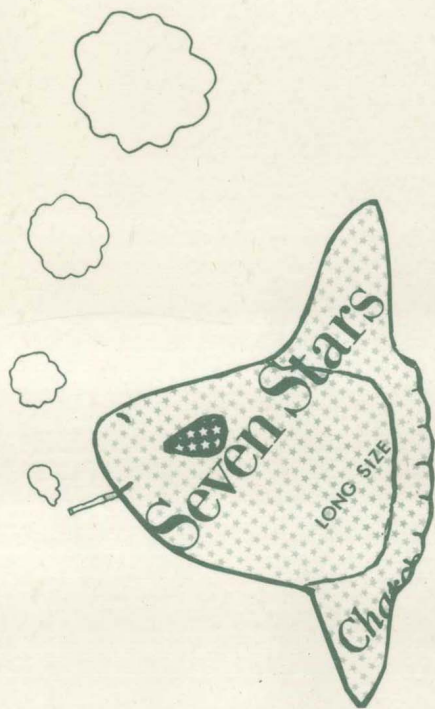
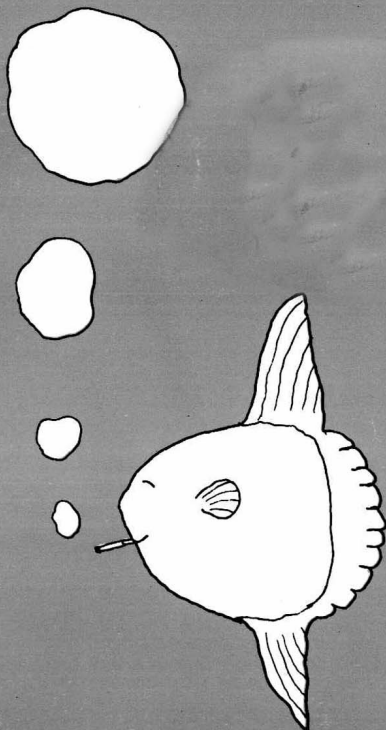




マンボウ 談話室

北杜夫対談集



講談社

マンボウ談話室

昭和五十二年三月二十八日第一刷発行
昭和五十二年五月二十日第二刷発行

著者——北杜夫

© Morio kita 1977, printed in Japan



発行者——野間省一

発行所——株式会社講談社

東京都文京区音羽二—三—三 郵便番号二三 電話東京〇三—九四一—二二 振替東京六—三六〇

印刷所——信毎書籍印刷株式会社 製本所——株式会社上島製本所

落丁本・乱丁本はおとりかえします

定価はカバーに表示してあります（文1）

マンボウ談話室●目次

藤島茂 トイレット立国論 7

高橋義孝 旅は道づれ脱線膝栗毛 21

獅子文六 本物のエロと滑稽は文化の花 37

吉行淳之介・山口瞳 われら鬱病同窓生 53

吉永小百合 ふたりはベテラン清純派 79

佐藤愛子 愉しかりし貧乏時代 103

山藤章二 生き変り死に変わりタイガースを愛す 127

矢代静一 幼年時代 141

星新一 わが習作時代とSF文学と 161

阿川弘之 好球・落球・変化急 197

水野晴郎 キングコングからチャップリンまで 229

あとがき 268

装幀 ● ヒサ・クニヒコ

マンボウ談話室

——北杜夫対談集

対談 1 ● 藤島茂 — 元国鉄“トイレット部長”
トイレット 立国論

週刊コウロン・昭和35年5月31日号

藤島 『どくとるマンボウ航海記』をお書きになった方だからさぞ容貌魁偉な方かと思ったら、
 (笑) やさしそうな方で……神経科のお医者さまでしたね。

北 ええ。白痴の中には記憶力のすばらしい人がいますね。十年間入院していて、医者が何回
 テストをやったかをキチッと憶えているのがある……。

藤島 物知りというのは危いということですかね。(笑)

北 私は記憶力が弱いので、いつもそれを強調しているわけですが。(笑)

藤島 私も相当方向オンチでね。

北 鉄道の方で方向オンチは困るじゃないですか。

藤島 いや線路がちゃんとありますからね。切符さえあれば間違はなく行く。(笑)

北 僕は切符を持っていても目的地に着かないから困るわけですよ。銀座へ行くつもりでいつ
 のまにか神田へ出ていたり、どうしてもなおらない。

藤島 僕は自分の向っている方をいつも東におもうクセがあるんです。その点、船はいいです

よね。

北 ええ、乗っちゃえばどこかに着くまで下ろしてくれませんかね。(笑)どうしてもトイレの話になるとまずいのですが、おしっこをすると渦を巻く。いつも右まわりになります。北半球にいるからそうなると思うのですが。(笑)

藤島 はあ、それは新説ですね。

北 磁気の関係だという。

藤島 さすが宇宙精神医学の方だけありますね。

北 腹を立てて、渦を逆流させようと圧力をかけると左まわりもする。ところが勢いが弱まると右まわりにもどる。南半球に行くと逆になるだろうということですね。女のかたは実験できませんが……。 (笑)何か法則があるんでしょう。僕は真理だと思いますがね。

藤島 しかし固体の方はそれに従うかどうか。 (笑)あなたもトイレ愛好者ですか？

北 僕も好きですよ。だいたい、今はセックスものが流行してるでしょう。あれはおかしいと思う。第一に食欲、第二に排泄、次が性欲だと思う。

藤島 それが順序ですよ。

北 だからトイレットが関心を持たれるのは大変結構です。

藤島 あなたも便所の中で本を読まれるんでしょう？

北 僕は本をあんまり読まないけれども、あの中で読み始めるとやめられなくて、出てくるときには足がヨタヨタなんてことがありますね。(笑)

藤島 マガジン・ラックなどを掛けておいてね。

北 あそこでは、だいたい出しちゃうのですから、中へ詰め込むのが自然だと思いますね。そりゃご飯を食べるのはまずいですから、(笑)せめて本ぐらい読んでいる方がいい。僕がボロ家でももったらトイレだけは立派なものをつくって、本棚なんかとりつけて、こわい女房をさけて一日の大半をそこで過そうと思います。

藤島 そんなこと言うとおヨメさんが来ないですよ。(笑)

北 読んでると非常に落ち着くので、小さな聖書なんかいいと思いますね。

藤島 本を持ち込むのは著者に対してオソレオオイから私は雑誌ですね。

北 便器のスタイルもいろいろあるけど、あの洋式スタイルはもう普及したんでしょうか？

藤島 まだ使い方というのは、やっぱりあまりわかっておりませんね。この前アメリカの在留邦人から長い手紙が来ましてね。その人もずいぶん長いあいだ逆向きに使っていたそうですね。(笑)

北 医学的見地からみると腰掛けた方がいいわけですよ。ある女の人から聞いた話ですが、丸ビルの婦人用トイレは昔から洋式ですが、それに塗ったペンキが二カ所必ずはげていると言うん

です。ハイヒールであそこに乗っかつちゃうんだそうでね。ペンキを塗り変えても、すぐ同じところのはげる。(笑)

藤島 それはそれは。ハイヒールで乗るといふのはあぶないですね。この前計ってみたのですが、一番小さいのは直径が九ミリなんです。それで乗るのはちょっと。もし落ちたら打ちどころが悪いですからね。(笑)

北 やはりちゃんと計るといふのは本職ですね。

藤島 いや、イギリスでは議会で質問がありましたね。ロンドンの地下鉄のエスカレーターみその溝がハイヒールのちょうどはまりこむ寸法で、そこでかかとを折るご婦人が多い。「運輸大臣は何をしているか」という質問で、その答がなかなかふるってまして、運輸大臣おもむろに立ちあがり「ハイヒールのかかとは年々細くなっている。あれだけ細くなると、危険はエスカレーターの問題ではなくして、ご婦人の足自身の問題だ。したがってこの所管は厚生大臣であります」と言って逃げたというのですね。(笑)

北 なるほど。あの洋式のやつでとんでもなく水の出るのがありますね。アレヨアレヨと、いまにもあふれやしないかと心配することがありますね。

藤島 いったん吸い込むかに見えて、また逆流してくるやつ。水洗未遂ですな。

北 あの水の消費量というのはおびただしい。といって、少ないとうまくない。断水するときな

んかもつたいたいと思うことがある。

藤島 篤志家の投書があつて、夏、水の出ないときには、大きなゴムまりを買つてきて、穴へまりを入れて足で踏んづける、一、二、一、二という呼吸で踏んづけると、圧力で中へ吸い込まれるというのですよ。(笑)

北 人智の限りを尽すわけですね。(笑)精神病院では独房というのがあります。トイレで首をくくるということがありますから、トイレの管理には人智の限りをつくしますよ。

藤島 独房というのは建築上も大変だろうな。

北 私のところの院長が東北の方に転任して、近代的な独房を作った。自動的にカチャッと鍵のかかるドアですよ。それが得意で、インターン生を連れて入ったところが、そのインターン生が気をきかせて扉をしめたから、さあ開かない。看護婦を呼ぼうとするが、院長先生が「助けてくれ」とどなるのはおかしいですからね、隣りの躁病の患者に「お前どなれ」と言つたのですよ。(笑)ところが患者、朝からさんざん歌をうたつて騒いだので「これ以上騒ぐともう出してあげません」とおどかされたのでどうしてもどならない。やっと「オーイ」と言わせるのと、「船方さアん」とくる。(笑)とうとう三十分も入っていたということですよ。(笑)

藤島 精神病院の方ではトイレはどんな仕掛けになってます？

北 非常に単純ですよ、鍵なんかない。自殺しないようにね。のぞき窓なんかがあつて。(笑)

藤島 なるほど。公認ののぞき窓ってのは精神病院だけだろうな。(笑)

でも北さんのおかしなご本が売れたり、トイレットの話が公然とできるってのは、ずいぶん世の中が進歩したものですね。

北 そうでしょう。日本人はきつとシリアスな性格の持主なんでしょう。

藤島 ききのうもたまたま電車に乗っているとチューインガムをかんでいる男女がいましたね。

それを何となく見てますと、こめかみあたりまでピクピクしている。チューインガムなんてものはそんなに一生懸命にかまなくてもいいんですがね。(笑)

北 チューインガムはアメリカあたりでもやはり吐き捨てちゃうものですか。

藤島 ええ、まあ、ニューヨークのグランド・セントラル駅で夜行列車の床からチューインガムをとるのが一番大変だそうですね。特に困ってるのは映画館の床ですね。これは絨緞じゅうたんが敷いてあるからね。ユーモアといえば、北さんマンガお好きらしいですね。

北 いや、高級なマンガは読みませんが、子供のマンガばかり見ちゃうのです。

藤島 なんでマンガをお読みになるのですか。

北 そう聞かれるとはずかしいけれど、僕はプロ野球と株と、マンガ本が好きなんです。株は、日本にカジノがないから、ギャンブル代りにちょっとやってみたんです。そしたら、はたしてスった。(笑)マンガは子供たちにと称して買い、自分が見てるんですがね。(笑)インド洋